

# サステファイ 株式会社

紹介資料

2025年10月29日

SUSTEFY



**Daniel van Wasseem**

ヴァンワースム ダニエル

取締役社長



経歴：ボストン コンサルティング  
グループ、A.T.カーニー、楽  
天社長室

天体物理学とグローバル開発学  
の学位

オランダ出身、日本語と英語に  
堪能

## ビジョン・ミッション

企業が**自社のサプライチェーン内で戦略的な炭素除去を実現**し、真に**意義のある脱炭素**と、**事業上・財務上の実益**を同時に得られる世界を目指します

そのために、企業には**戦略的価値の高いプロジェクトへの道筋を示し**、同時に**炭素除去の実行者である農業生産者**と直接つなぐことで、農家にも利益を公平に分配します

会社名

サステファイ株式会社

設立年月日

令和6年10月

本社所在地

東京都中央区日本橋兜町17-2兜町第6葉山ビル4F

連絡先

03-6696-9098

daniel.vanwassem@sustefy.com

<https://www.sustefy.co.jp>

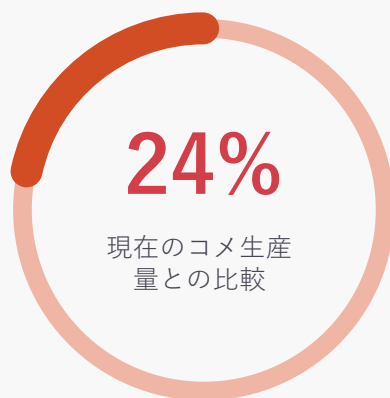


## 農業の課題

日本の農業生産者はすでに、気候変動が農作物の品質と収量に与える影響に直面している

### 米の収量減

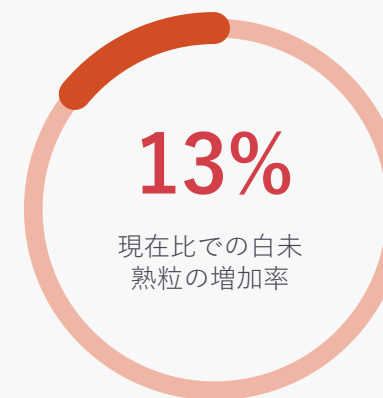
(日本国内；2100年の予想)



気温とCO2レベルの上昇は稲の生育期間と肥沃度を低下させ、全体的な収量を低下させる

### 米の品質低下

(日本国内；2100年の予想)



高温条件は米粒形成を加速し、より多くの白未熟粒を引き起こし、品質低下につながる

気候変動の最大の被害者である農家が、脱炭素経済の受益者にもなるべきだ



一方、企業は脱炭素化への圧力が  
高まる中、炭素クレジット市場で  
は適切な対応が困難な状況に

## 炭素クレジット調達における課題



炭素クレジット情報は分散しており、  
標準化されていない

→ **PDD、検証報告書、登録データを手動でレビューするの**に数週間かかる



炭素クレジットの品質や、戦略的・事業的価値が  
あるかが不明確

→ **最悪の場合はグリーンウォッシング批判のリスク、  
最良の場合でもバリューチェーンとの整合性がないク  
レジットを購入**



最良の炭素クレジットは希少で、市場に出る前に  
購入されることが多い

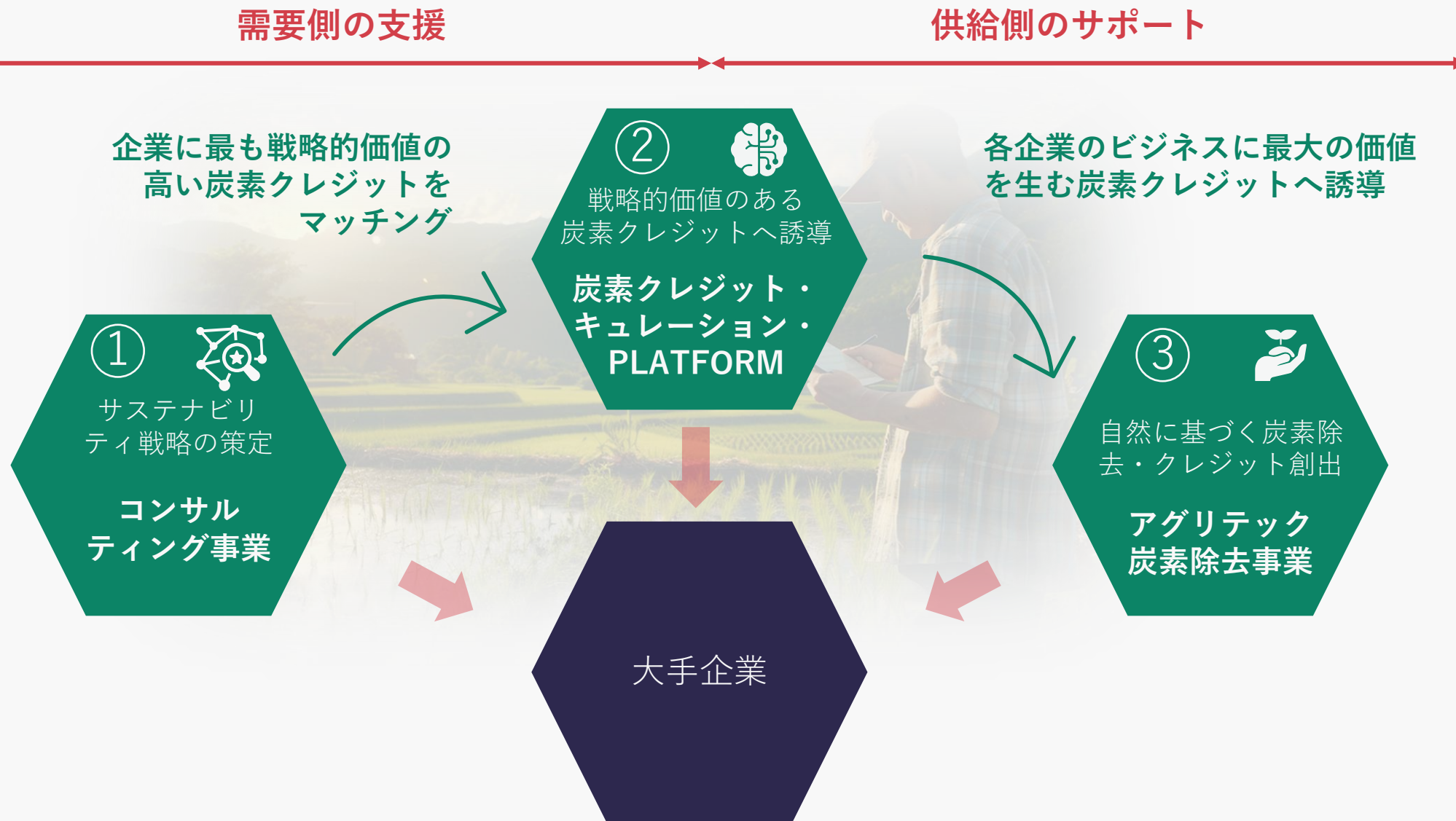
→ **最適でない炭素クレジット・ポートフォリオになる  
リスクが高い**



これらの問題により、企業が本当に必要とする  
クレジット—サプライチェーンに関連した高品  
質な除去—to アクセスできない

# サステファイの事業

企業と生産者をつなぐインセッティング・プラットフォーム



## ② 炭素クレジット・キュレーション・プラットフォーム 「レゾナンス・エンジン」で企業の炭素戦略を変革

### 起業への価値



カーボンクレジットと  
ESGデータの単一情報  
源を確立



カーボンプロジェクト  
と企業オペレーション  
間の戦略的適合性を定  
量化



全バリューチェーン  
横断でROIをモデル化・  
追跡



データドリブンなポ  
ートフォリオ最適化と自  
動レポーティング

by **SUSTEIFY** プロジェクト 企業 ポートフォリオ インサイト

日本語

Resonance Engine

ダッシュボード  
プロジェクト  
企業  
グラフエクスプローラー  
ポートフォリオ  
スコアリング  
インサイト  
レポート  
設定

Search projects, companies...

### カーボンクレジットプロジェクト

標準値 標準化された分類体系 (90%以上のカバレッジ) 元の値: レジストリの元の値

名前、ID、方法論で検索...

レジストリ ステータス プロジェクトタイプ 方法論

すべて すべて すべて

検証基準 プロジェクトの特性

すべて

☐ VCS (Verra)  
☐ Gold Standard  
☐ CAR  
☐ ACR  
☐ Isometric  
☐ Puro.earth  
☐ ART TREES

☒ 自然ベース  
☐ 技術ベース

| レジストリ                                                            | ステータス                 | プロジェクトタイプ            | 方法論                | 地域                    | 年間クレジット                           |
|------------------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------------------|
| 7b4-a47f-00c6dc47b837                                            | Active<br>元の値: Issued | Nature Based Removal | Biochar            | グローバル<br>元の値: Finland | 284<br>tCO <sub>2</sub> e/year    |
| 0c3-9c77-07e03083f569                                            | Active<br>元の値: Issued | Nature Based Removal | Biochar            | グローバル<br>元の値: Finland | 334<br>tCO <sub>2</sub> e/year    |
| Ekovilla 1 Kiliminki<br>ID: a80cad7f-a1a1-4e0c-b255-f31e6cd79a7b | Active<br>元の値: Issued | Nature Based Removal | Building Materials | グローバル<br>元の値: Finland | 10,719<br>tCO <sub>2</sub> e/year |
| Carbofex 1 Hiedanranta                                           | Active                | Nature Based Removal | Biochar            | グローバル                 | 217                               |

プロのヒント  
ポートフォリオワークベン  
チを使用して、カーボン  
クレジット投資を最適化しま  
しょう



### ③ アグリテック炭素除去事業

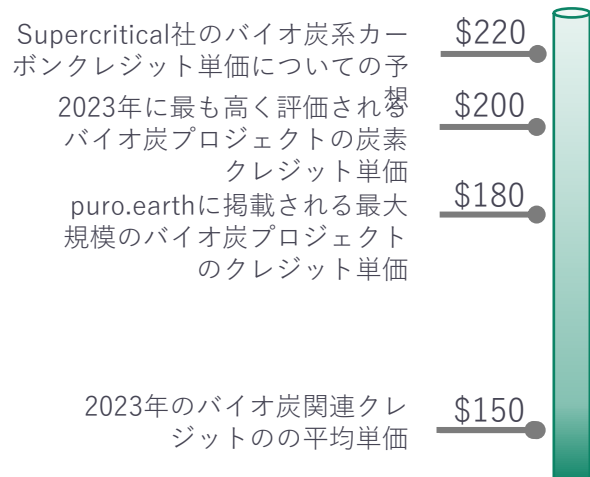
環境と農場の両方にメリットがある「バイオ炭」プロジェクトで供給側を構築

#### 環境面でのメリット



##### 1. 長期的な炭素隔離

#### バイオ炭系のカーボンクレジットの単価<sup>1234</sup>



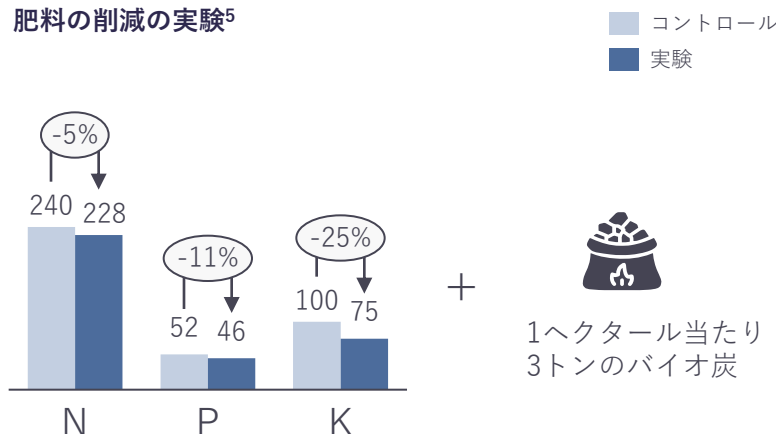
~17万円 ha<sup>-1</sup>  
即時

#### 農業面でのメリット



##### 2. 肥料の削減

#### 肥料の削減の実験<sup>5</sup>



~1万円 usd ha<sup>-1</sup>  
即時

##### 3. 収量の向上

+6.6%  
6年後の米の収量改善

土壌の間隙構造が改善され、根の長さ密度が増加し、地上部のバイオマスが増加した

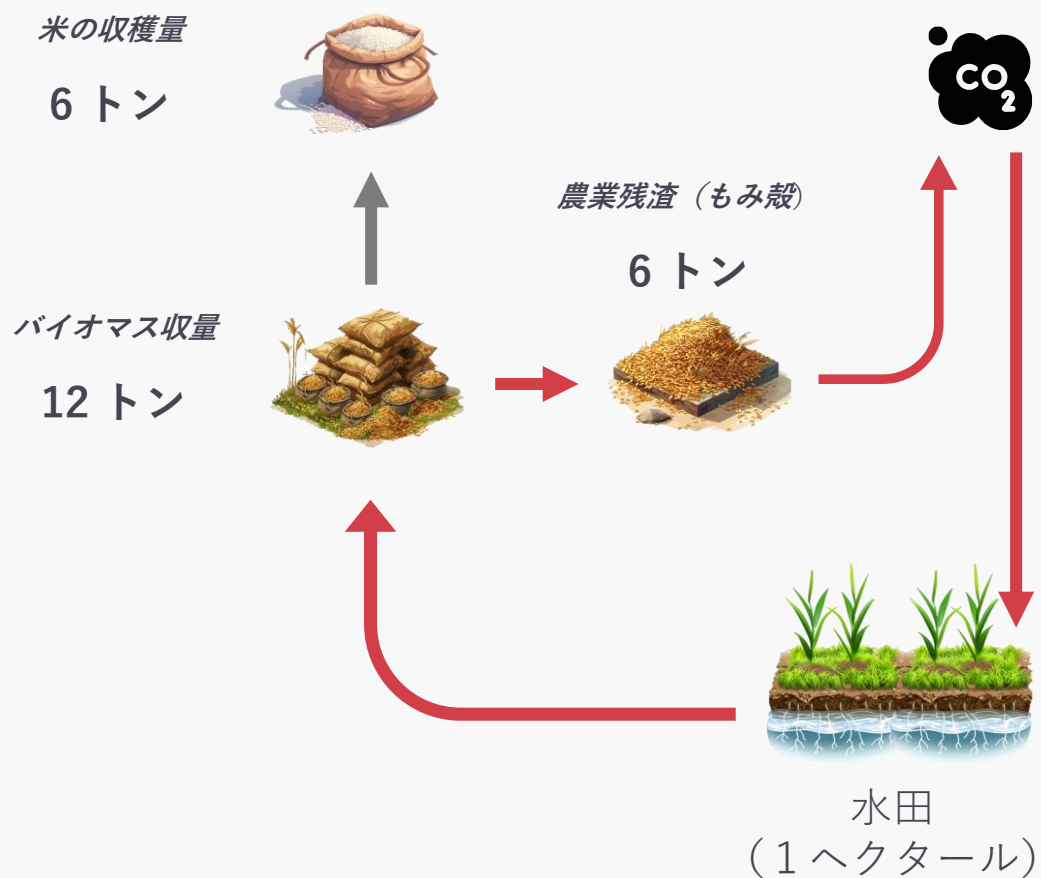
~10万円 usd ha<sup>-1</sup>  
長期



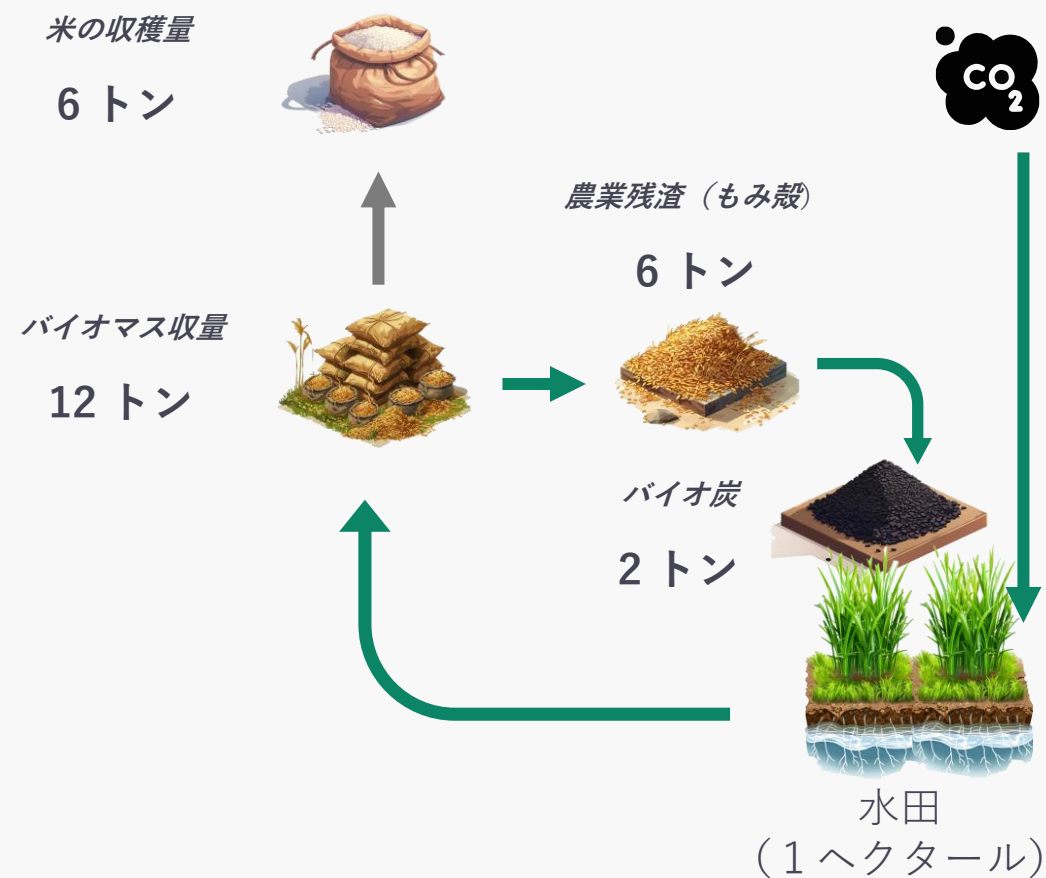
### ③ アグリテック炭素除去事業

農業廃棄物からのバイオ炭は、炭素を土壌に永久に貯蔵する自然に基づく炭素除去アプローチである

通常、生産者は収穫後の残渣を土壌に戻す  
炭素は数ヶ月で放出



土壌散布前に残渣をバイオ炭に転換  
炭素は土壌に100～1,000年固定される



# 目指す姿

統合型プラットフォームで、地域の生産者と企業を直接つなぎ、戦略的で高品質な炭素除去市場を実現

連携農業生産者  
とのバイオ炭PJT



バイオ炭  
社内バイオ炭PJT

**Capability:** 効率的でクリーンなバイオ炭製造  
当社の工場は収益性を維持しながら操業しており、製造副産物を再利用することでクリーンなバイオ炭を生産してる

その他地域  
プロジェクト



その他のプロジェクト+Registryアクセス  
高品質、地域的クレジットPJTを網羅的に提供

**Capability:** ローカルなプロジェクトの当社プラットフォームへオンボーディング、+グローバルレジストリーに登録されたPJTへの統合アクセス

クレジット  
登録簿



クレジット  
プラットフォーム



プレミアム炭素クレジット  
日本の大手企業を支援

**Capability:** 日本企業にとって簡単で透明性が高い道で高品質プロジェクトへのアクセス  
バイヤーは、市場・株主・消費者へのメッセージ性が高く、透明性が高く、関連性の高いクレジットの「アーリーバイヤー」購入可能



大手企業

## 現状と今後の展開

プラットフォームとバイオ炭事業の両方が展開準備完了 - 事業拡大に向けた戦略的パートナーを募集中

進捗

ご相談項目



クレジット  
PF



アグリテック  
炭素除去事業

